

平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章		都立西高等学校 全日課程		進路	実績	4年制大学	52%	短期大学	0%	専門学校	0%	就職	0%	その他	48%						
		国際社会で活躍できる器の大きな人間の育成 「文武二道」「自主自律」「授業で勝負」		特徴	難関国立大志望者が多く、東大19名、難関国立大58人、早慶上智256人(いずれも現浪計)																
基本情報	所在地	〒168-0081 杉並区宮前四丁目21番32号		電話番号	03-3333-7771																
	アクセス	(1) 京王井の頭久我山駅 徒歩10分 (2) JR中央線荻窪駅南口よりバス「宮前三丁目」行き10分 (3) バス「すぎ丸」利用 京王井の頭線久我山駅より5分、JR荻窪駅より11分																			
本学情報	学科	普通科																			
	在籍生徒数	974人(男子507人、女子467人)																			
報	教育課程の特徴	習熟度授業(国語、数学、英語の一部) 少人数授業(体育、国語、数学の一部)																			
	ホームページ	http://www.nishi-h.metro.tokyo.jp/		自律経営推進予算 31年度(単位:万円)	2,465																
その他	進学指導重点校、東京グローバル10、理数研究校、BYOD研究校		校服	私服																	
基	本	入	学	者	選	抜	情	報	募集人員	推薦:男子33人、女子30人 学力検査:男子132人、女子121人											
									29年度入学生	推薦	男子	3.15	女子	4.93	30年度入学生	推薦	男子	3.81	女子	3.80	31年度入学生
報	の	特	徴	その	他	の	特	徴	推薦選抜(作文/集団討論・個人面接)												
									学力選抜(国数英は自作作成問題)												
主な学校行事		運動会(5月)、記念祭(9月)、林間学校(1年・7月)、修学旅行(2年・10月)																			

目指す学校 「文武二道」を推奨して、豊かな人間性や協調性を涵養し、「自主自律」の態度を育成することで、生徒一人一人の個性と能力の一層の伸長を図り、将来を見通した進路実現を支援するとともに、国際社会で活躍できる器の大きな人間の育成を図る学校。

今年度の重点目標 今年度の取組と自己評価

目標①	○教育改革の動向を見据えた指導体制、内容の見直し 将来構想委員会や教科主任会等での継続検討と全教職員の共通理解を図るための校内研修等の充実を通じて、大学入試改革に対応した指導体制を確立するとともに、新学習指導要領に沿った指導内容・方法の改善・充実を図る。	<ほぼ目標を達成> 将来構想委員会及び企画調整会議で、本校のグランドデザインを策定し、新学習指導要領下における教育課程を決定した。また、校内研修では、授業参観や研究協議を実施して、「主体的で対話的な深い学び」を涵養する授業の実践に取組む教員の育成を図った。さらに、BYOD研究指定校として、Wi-Fi環境を活用した学習クラウドの活用や、「探究活動」での活用を始めた。
目標②	○自律的な学習態度の完成 予習と復習を習慣化させる指導を徹底して、「文武二道」を堅持しつつ学習時間の増加を確保する。自習室やチューター制度、センター試験過去問採点等、校内における自学自習を支援する体制の一層の活用を図ることで、「授業で勝負」する自律的な学習態度を伸ばさせる。	<学習時間の増加が継続課題> 生徒の平日における家庭学習の平均時間(10月調査)は、1年生が1.63時間で昨年度より0.25時間の減少、2年生が1.71時間で昨年度より0.13時間の減少であった。学年集会や学習ガイダンス等で、限られた時間に集中して家庭学習に取り組む指導をしているが、課題の出し方の工夫も含め、継続した検証と指導が必要である。チューターの利用者は昨年度に比べて81名増の356名であった。
目標③	○次世代を担う人材の育成 3年間を見通した系統的なキャリア教育を継続するとともに、PTAや同窓会と連携して、ジョブシャドウイング等のキャリア教育関連事業の一層の充実を図る。また、国際交流事業の体系化と拡充、また土曜特別講座等の活用により、「大きな器」を培う多様な体験的プログラムを充実させる。	<目標を達成> 訪問講義は講師の都合で3回の実施となったが、参加生徒数はのべ358名と昨年より16名の増となった。地域医療に関する実習には10名の生徒が参加するなど、生徒の興味関心が高まった。国際交流事業では、次世代リーダー育成道場による留学16名や今年度で7回目の実施となるアメリカ研修(新型コロナウイルス感染症流行のため中止)に加えて、スタンフォード大学研修プログラム(3名参加)、インドネシアAl Izharr校との姉妹校交流開始(15名参加)などグローバル人材育成のプログラムを充実させることができた。

数値目標	今年度の数値目標の内容	28年度		29年度		30年度		今年度		32年度	33年度	34年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	センター試験の6教科18科目の校内平均点が全国平均点より上回る合計点	280点	292点	280点	290点	280点	344点	320点	341点	320点	320点	320点
目標②	自習室利用者ののべ人数	3000人	4340人	4000人	2969人	4000人	3965人	4500人	3258人	4500人	4500人	4500人
目標③	訪問講義を受講する生徒ののべ人数	150人	130人	150人	204人	200人	342人	200人	358人	200人	200人	200人